

努力は自分を変える力になる

喜多方市立第三中学校 三年 内海 紗彩

「努力は報われると思いますか。」

私は少し前まで、この問いに自信をもって「はい」と答えることができませんでした。小学生の頃の私は、努力するよりも楽な方を選ぶことの方が多く、「努力しても意味がない」と思っていました。その結果、「もっとやっておけばよかった」と後悔することも少なくありませんでした。でも今は違います。努力は結果だけでなく、自分自身を変えてくれるものだと思います。

中学校に入学したばかりの頃、私にとって一番の試練は友達作りでした。自分から話しかけることに緊張してしまう私は、人と関わることが苦手で、「友達ができなかったらどうしよう」と毎日不安でした。しかし、話しかけてきてくれた子のおかげで、共通の趣味をもつ友達と出会うことができました。周りの人たちに支えられ、少しずつ学校生活が楽しくなっていきました。友達と過ごす時間が増えるにつれ、「私も頑張ってみよう」と思えるようになりました。

次に私を待っていた試練はテストでした。一年生最初の期末テストでは思っていた以上により順位を取ることができ、少し調子に乗ってしまいました。しかし、その後のテストでは思うように点数が伸びず、一緒に勉強する友達との差も感じるようになりました。「自分はまだまだ努力が足りないんだ」と気付いたのは一年生の終わり頃でした。

二年生になっても、特に苦手だった社会は一生懸命勉強してもなかなか結果が出ませんでした。努力しているのに成果が表れず、「頑張っても意味がないのかな」と思うこともありました。

そんな時、先生に勧めていただいて文化祭のポスター制作に挑戦しました。構図や色の配置など時間をかけて一枚の作品を完成させると「素敵なポスターだね」とたくさんの人が声をかけてくれました。その時、「時間をかけて努力したことは、ちゃんと誰かが見てくれているんだ」と感じました。この経験が、私の考え方を少しずつ変えてくれました。

その後のテストでは、一から勉強方法を見直し、勉強する量も質もこれまで以上に意識して取り組みました。周りの友達も勉強に熱が入り、競い合うように日々勉強の成果を報告し合っていました。友達の頑張る姿は私の励みになり、「絶対に友達には負けたくない」という思いで毎日コツコツ努力を続けました。

すると、三学期の期末テストでは努力が実を結び、目標としていた友達を追い抜くことができました。結果がうれしかったのはもちろんですが、それ以上にうれしかったのは、「努力を続ければ自分は変われる」と実感できたことです。努力することは苦しいだけではありません。自分が少しずつ成長していることを感じられる、楽しいこともあるのだと思いました。

もちろん、努力してもすぐに結果が出ないこともあります。途中でやめたくなくなることもあるでしょう。でも、努力は決して無駄ではありません。たとえ思うような結果が出なく

でも、その努力は次の挑戦につながり、自分自身を成長させてくれます。

私は、友達と励まし合い、競い合う中で、努力できる自分へと変わることができました。だからこそ、みなさんも何かに挑戦するときは、最初から「無理だ」とあきらめないでほしいと思います。努力は、結果だけでなく、自分の心まで変えてくれる力があると私は思っています。私も今の努力が百パーセントだとは思っていません。まだまだと感ずることがたくさんあります。受験や就職など、これから先も、いろいろな試練が私の前に立ちほだかってくると思います。その一つ一つを怖がるのではなく、これからはコツコツと努力を継続していくことで、どんなことでも乗り越えていきたいです。